

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

**注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

**ポイント**

- 錠の取付けは、門扉本体に戸当り・合掌枠カバーを取付け後に行ってください。尚、戸当り・合掌枠カバーの取付け方法は、「門扉本体」に同梱されている取付説明書（A457又はA458）を参照してください。

■梱包明細表

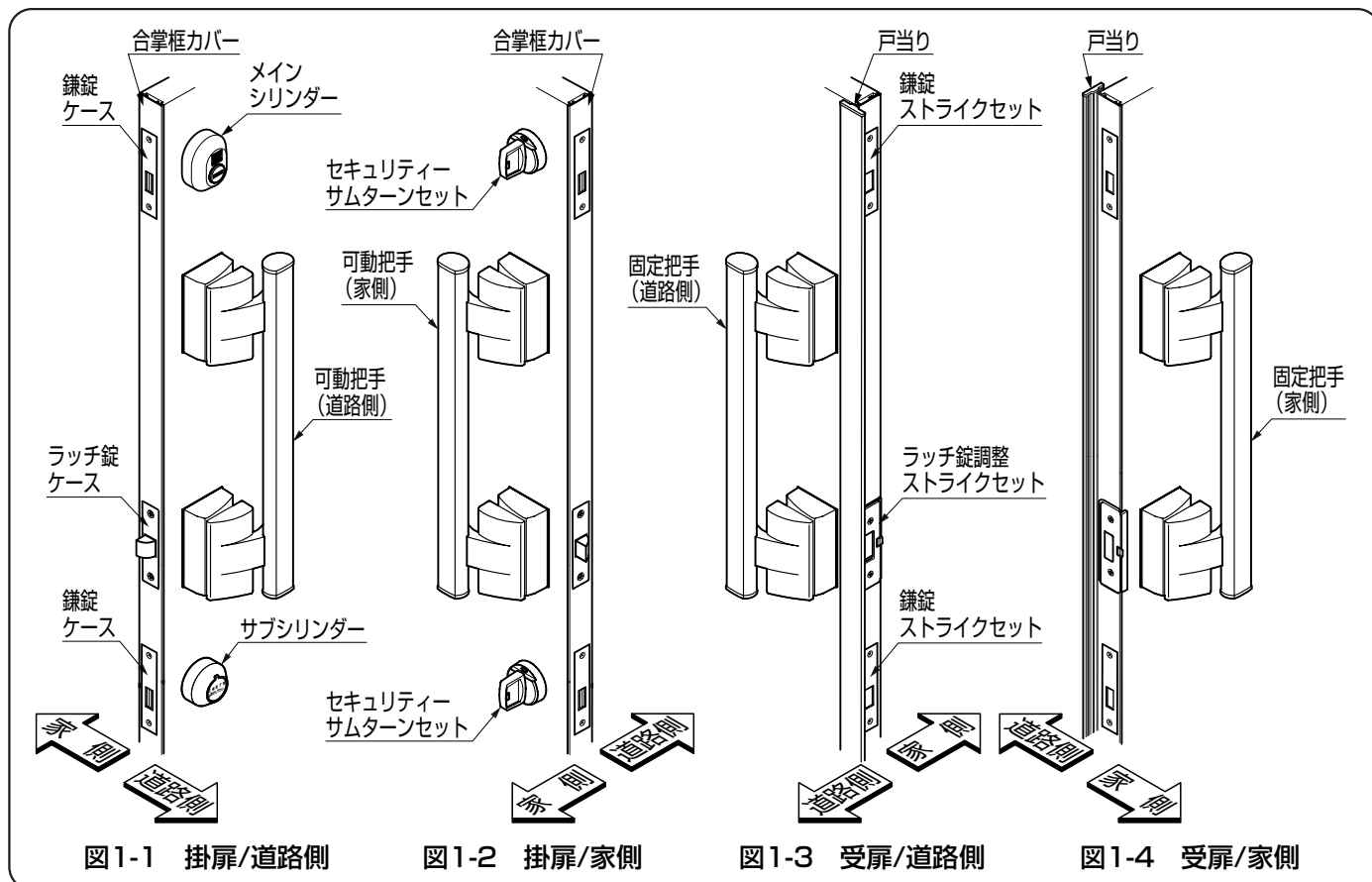
【1】プッシュプルPU錠セット

名 称	略 図	員 数							
		シリンダー錠				空錠			
		片錠・親子錠		両錠		片錠・親子錠		両錠	
		内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用
可動把手セット（内開き用）		1	—	1	—	1	—	1	—
可動把手セット（外開き用）		—	1	—	1	—	1	—	1
固定把手セット		—	—	1	1	—	—	1	1
把手固定裏板		2	2	4	4	2	2	4	4
ラッチ錠ケース		1	1	1	1	1	1	1	1
鎌錠ケース		2	2	2	2	—	—	—	—
メインシリンダー		1	1	1	1	—	—	—	—
サブシリンダー		1	1	1	1	—	—	—	—
セキュリティサムターンユニット		2	2	2	2	—	—	—	—
サムターン座		2	2	2	2	—	—	—	—
おでかけサムターン（※1）		3	3	3	3	—	—	—	—
エマージェンシー（※1）		1	1	1	1	—	—	—	—
キー（※1）		3	3	3	3	—	—	—	—
【1-1】φ4×12サラタッピン3種ネジ		6	6	6	6	2	2	2	2
【1-2】M5×20サラ小ネジ		4	4	8	8	4	4	8	8
【1-3】M4×12サラ小ネジ（D=7）		4	4	8	8	4	4	8	8
【1-4】M5×45トラス小ネジ		4	4	4	4	—	—	—	—

※1 施工終了後、必ず施主様にお渡しください。

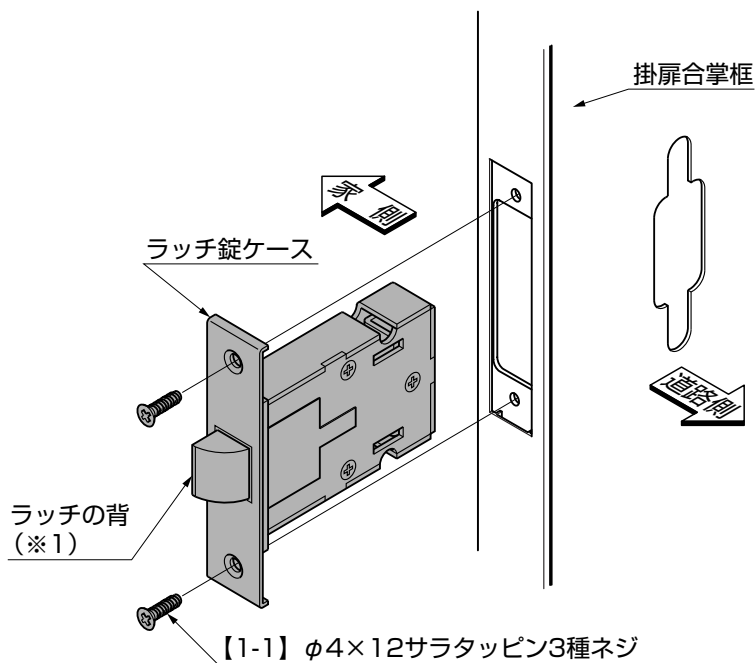
名称	略図	員数							
		シリンダー錠				空錠			
		片錠・親子錠		両錠		片錠・親子錠		両錠	
		内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用
錠 受 け 金 具 部 品 箱	ラッチ錠調整ストライクプレート	1	1	1	1	1	1	1	1
	ラッチ錠調整ストライク	1	1	1	1	1	1	1	1
	ラッチ錠調整トロヨケ	1	1	1	1	1	1	1	1
	鎌錠ストライク	2	2	2	2	2	2	2	2
	鎌錠トロヨケ	2	2	2	2	2	2	2	2
	マグネットユニット	-	-	-	-	1	1	1	1
	【1-5】φ4×16サラタッピン3種ネジ	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
取付説明書 (A453)	-	1	1	1	1	1	1	1	
取扱説明書 (UA169)	-	1	1	1	1	1	1	1	

1. 各部の名称 ※図は右勝手内開きを示します。



2. 把手の取付け ※図は右勝手内開きを示します。

2-1 ラッチ錠ケースの取付け ※掛扉への作業です。

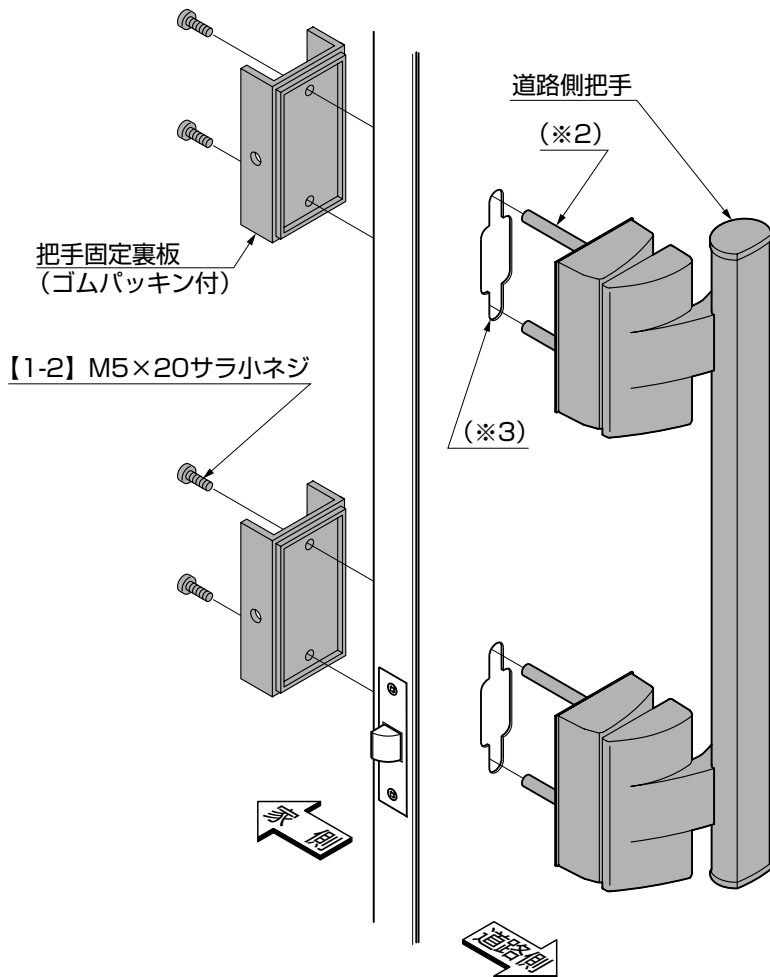


- ①ラッチの背(※1)を家側に向け、ラッチ錠ケースを扉の合掌框に【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 外開きの場合は、ラッチの背(※1)を道路側に向けて取付けてください。

2-2 道路側把手の取付け ※掛扉・受扉へ同様の作業を行ってください。

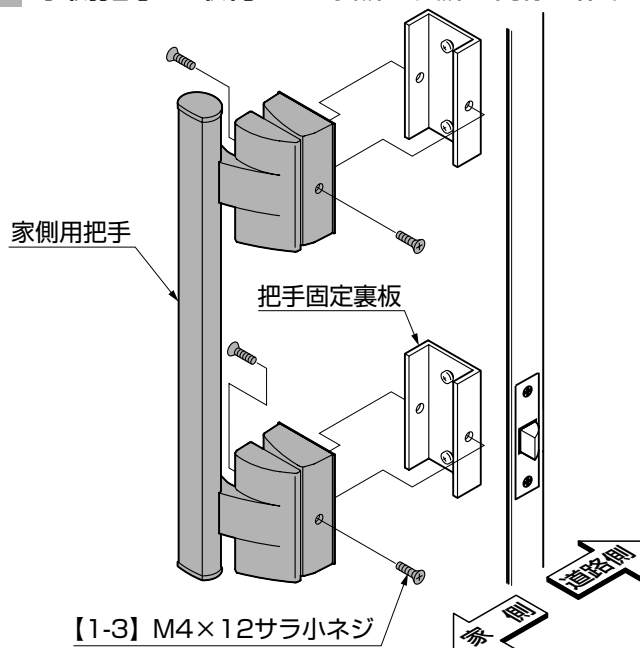


- ①道路側把手(可動把手)を道路側から扉合掌框の取付孔(※3)に差込み、家側から把手固定裏板を当て、【1-2】で取付けてください。

ポイント

- 道路側把手は、取付軸(※2)が付いています。
- 両開きの受扉には、道路側把手(固定把手)を同様に取付けてください。尚、受扉合掌框の取付孔(※3)は丸孔になっています。

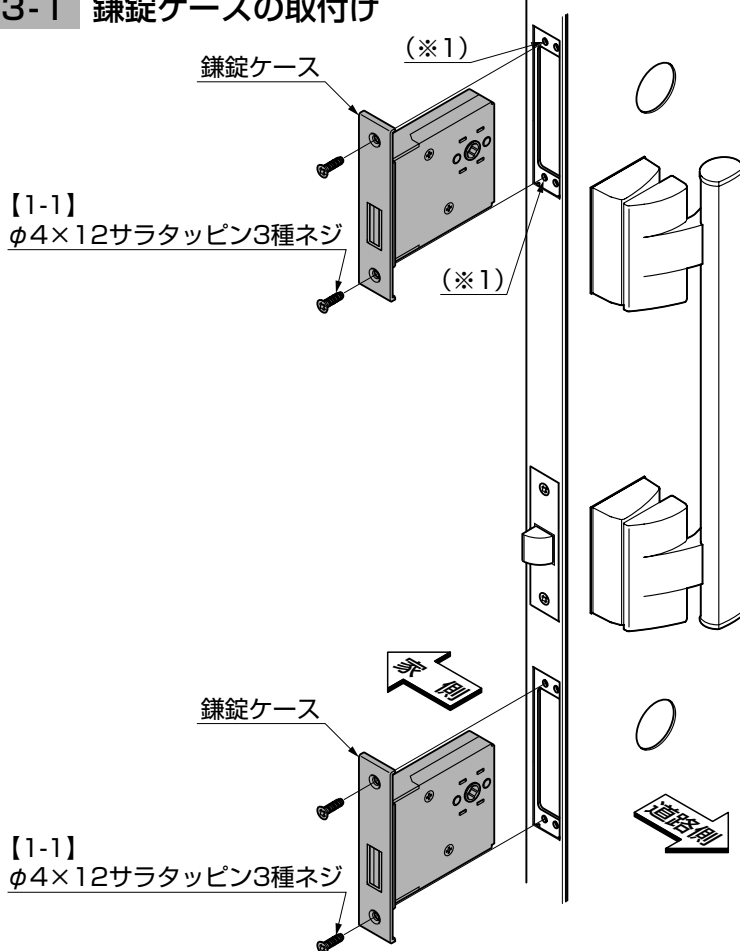
2-3 家側把手の取付け ※掛扉・受扉へ同様の作業を行ってください。



①家側把手(可動把手)を把手固定裏板にはめ、【1-3】で取付けてください。

3. シリンダーの取付け ※掛扉への作業です。(空錠仕様は除きます。) ※図は右勝手内開きを示します。

3-1 鎌錠ケースの取付け



①上下2カ所に鎌錠ケースを【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 鎌錠ケースの上下を確認して取付けてください。
- 鎌錠ケースは取付け加工孔に対して必ず家側にある下孔(※1)に取付けてください。

3. (つづき)

3-2 シリンダーの取付け

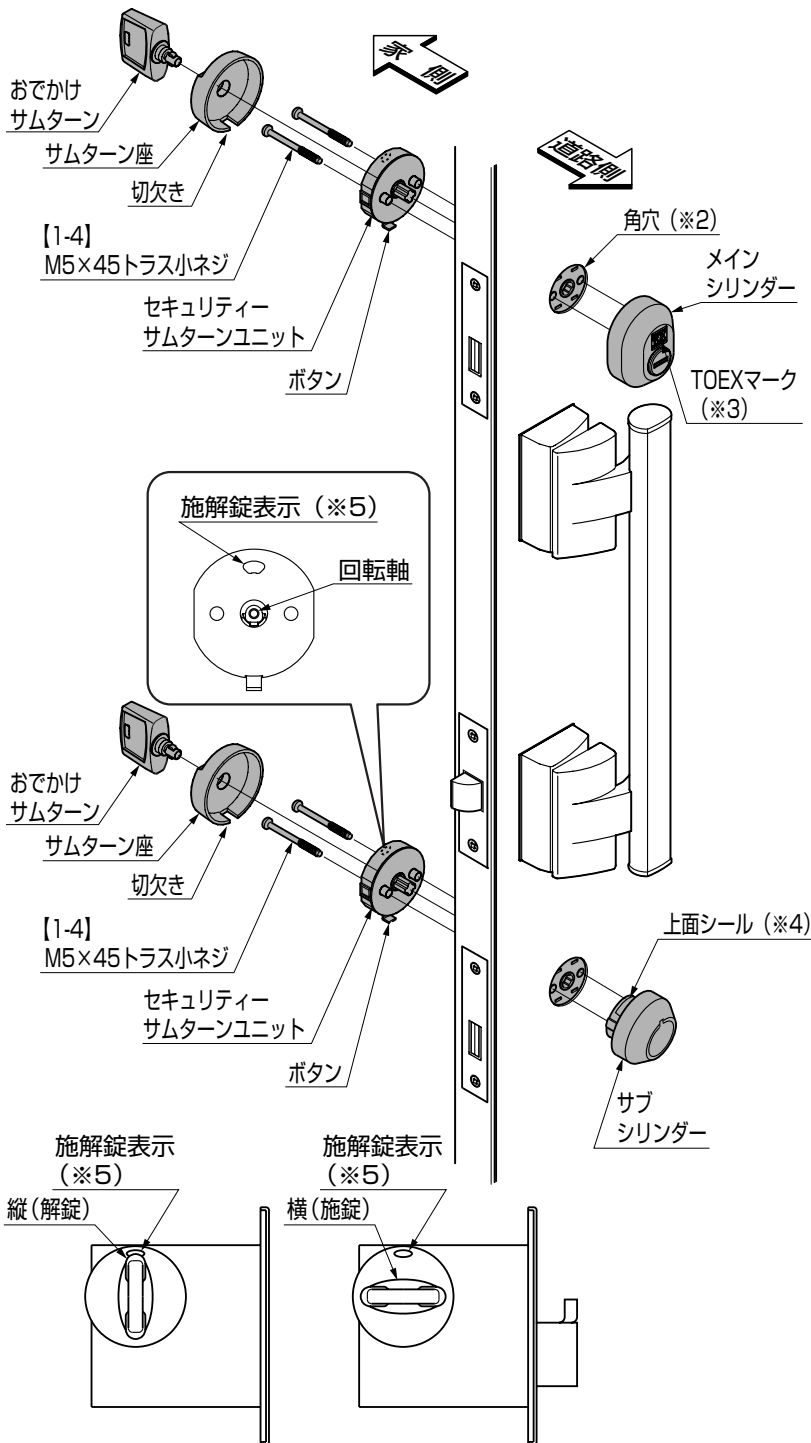


図3-1 サムターンツマミの操作

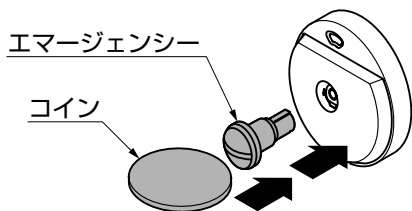


図3-2 エマージェンシーの操作

- ①メインシリンダーを上部に、サブシリンダーを下部にそれぞれの鑰錠ケース角孔(※2)に差込んでください。

補足

- メインシリンダーは「TOEXマーク」(※3)を上にして取付けてください。
- サブシリンダーは「上面シール」(※4)を上にして取付けてください。

- ②セキュリティサムターンユニットのボタンを下向きにして【1-4】でシリンダーに取付けてください。

ポイント

- 施解錠表示(※5)の色が白であることを確認して取付けてください。黒の場合は回転軸を回して白にします。

- ③サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込んでください。
- ④ボタンを上を押上げながら、おでかけサムターンを差込み、ツマミを回すと鑰錠が作動することを確認してください。

ポイント

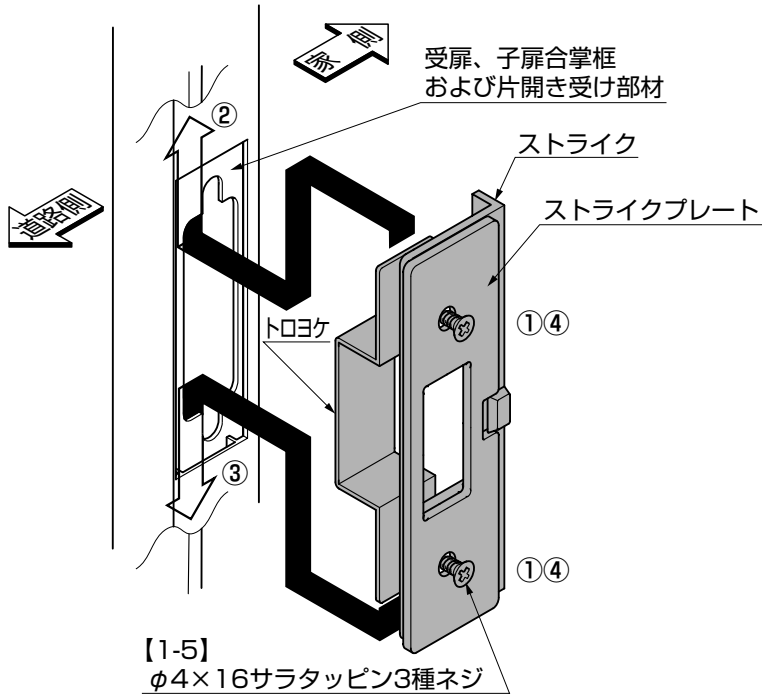
- おでかけサムターンは縦にして取付けてください。
- おでかけサムターンを差込んだ後、ボタンが戻るとおでかけサムターンが抜けなくなります。
- おでかけサムターンのツマミを回すと、施解錠表示(※5)が解錠時「白」、施錠時「黒」になります。(図3-1参照)

- ⑤エマージェンシーをおでかけサムターンと同様に差込み、コインで回転することを確認してください。(図3-2参照)

4. 錠受け金具の取付け

※受扉、子扉、片開き受け部材への作業です。
※図は右勝手内開きを示します。

4-1 ラッチ錠調整ストライクセットの取付け



- ① ラッチ錠調整ストライクセットの【1-5】をしっかりゆるめてください。
- ② 取付穴の内にトロヨケ上部をはめ込み上方へスライドさせて、トロヨケ全体を穴にのみ込ませてください。
- ③ ②の状態下方へスライドしてください。
- ④ 【1-5】を締めて固定してください。

ポイント

- 下方へスライドした際に、ストライクが加工孔の端部に突き当たるまで下げて固定してください。
- 内開きの場合は、ストライクの曲げ側(※1)が家側に、外開きの場合は道路側に向けて取付けてください。(図4-1参照)
- ラッチ錠ストライクセットは、掛扉のラッチ(※2)とのあそびの調整が可能です。図4-2のようにストライクプレートをスライドして調整してください。

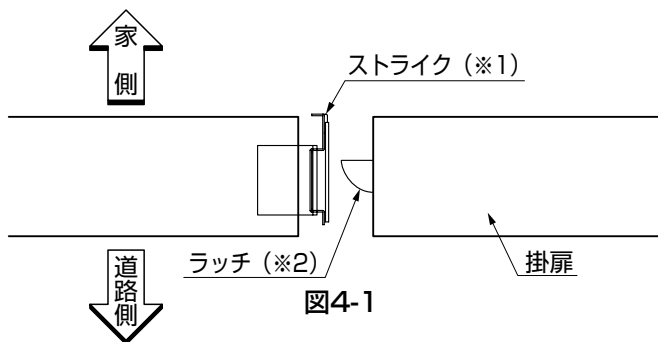


図4-1

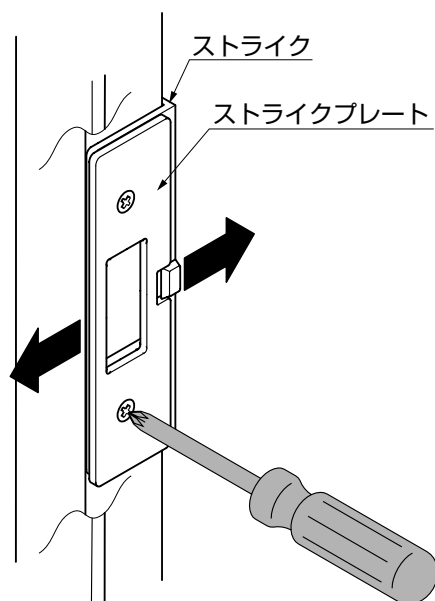
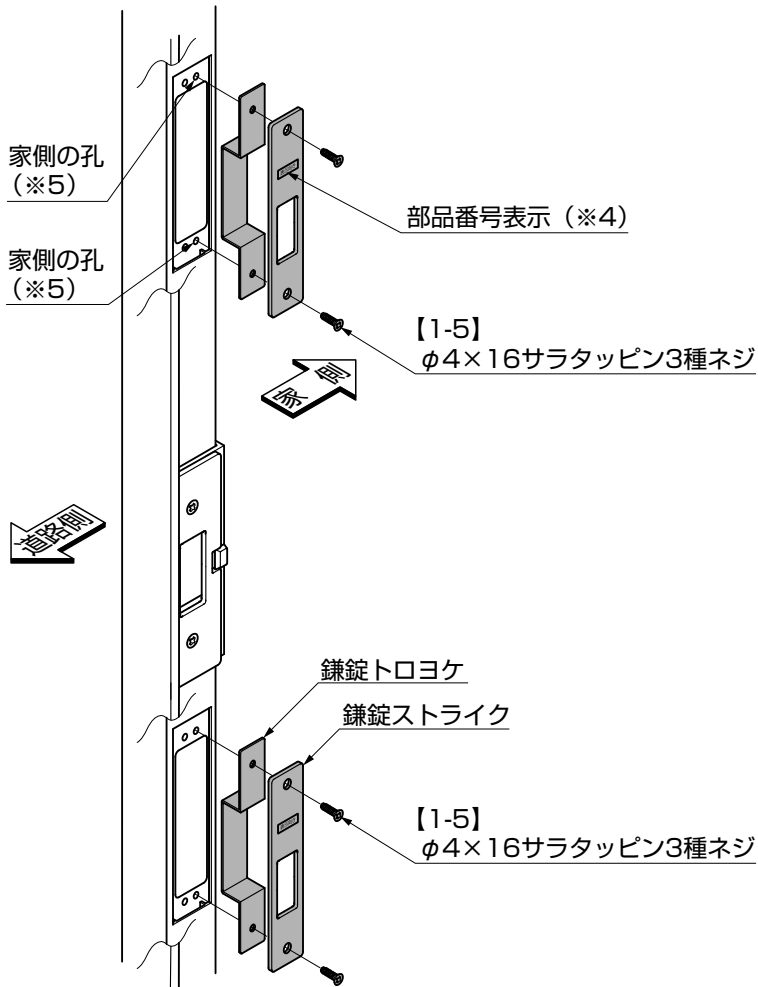


図4-2 ストライクプレートの調整

4. (つづき)

4-2 鎌錠ストライクセットの取付け

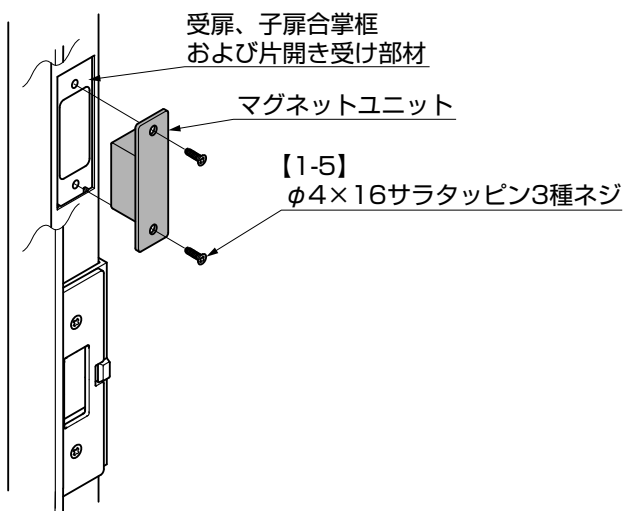


① 鎌錠ストライクの裏面の部品番号表示(※4)を上向きになるように鎌錠ケースと重ねて【1-5】で取付けてください。

ポイント

● 鎌錠ストライクは、取付加工孔に対して家側に寄せ、必ず家側にある下孔(※5)に取付けてください。

5. マグネットユニットの取付け ※タッチ&ノータッチキー門扉時の受扉、子扉、片開き受け部材への作業です。



① マグネットユニットを各部材中央部の加工孔に【1-5】で取付けてください。

取説コード

A453

JZZ615946C
200803A_1001
201607D_1049